付表　アンケート調査票（感想・意見・要望）

	府民・患者	患者団体関係者	医療関係者	大学関係者
第1講演（木村）	患者に視点をおいた計画になったと第4講演でやっとわかった。行政関係者が書類作りに疲れてしまうのではなく、がん患者の思いに寄り添っていただくことを願う。	多くの内容で知らないことがあったが，参加して改めてがんに対するサポート体制の必要性を強く感じました。	一般府民の数が少ないのではなかったでしょうか、第3期がん対策推進基本計画の普及にはまだまだかなとの印象	大阪府におけるがん対策計画の進捗状況やがん患者さんの実際の話を聞けて勉強になりました。
	第一講演の現状と今後の（緩和ケアなど）対策や方向性について参考になった。仕事をもてることは大変重要で治療費が生活費をおびやかすので負担軽減する体制（限度額制度もあるけれど）もお願いしたい	働き方の点で企業への取り組みが現在今後どうなっているのか知りたい。	奈良から来ました。大阪のがん対策の状況がよくわかりました。奈良からも多くの患者さんが大阪に治療通院やセカンドオピニオンに行かれています。	大阪府の第三期がん対策推進計画，がん診療拠点病院におけるがんサバイバーシップ支援が明確にされ，具体的な取り組みが始まったことが具体的に理解出来ました。
	今のところがん検診は定期的に受けています。かかりつけのドクターの勧めや自分で進んで。		国の対策から大阪府としての対応，各個人としてもと考えていく必要があるのかと考えさせられる内容で良かったです。	大阪のがん対策の詳細がわかり大変参考になった。がん対策が経過目標現状がわかりよかった。
			勉強不足ですので多くのことが新しく知り得た情報知識です。がんプロがん患者会に対する知識、第三期がん対策推進計画の内容勉強になりました。	第3期がん対策推進計画がどの位置付で，どのような問題からできたものかも改めて学ぶことが出来ました。また大阪府の特徴が府に特化した現状課題も知ることが出来ました。
			がん対策推進計画をしっかり理解して，ニーズに利用していきたいと思います。	様々な立場から考えるがん対策を知ることが出来ました。ありがとうございました。
				第3期がん対策推進法や大阪国際がんセンターの取組等，このようなシンポジウムに参加しないとなかなか詳細が知ることができず，今回は今までの取組から今後の対策までを知ることが出来とても良かった。府民や市民がこの仕組みや制度をどう活用していくか等を今後は実例で示して頂ければ，もっと身近に感じることが出来ると思います。
	松浦先生が多くの病院を訪問しアドバイスしていただいていると聞き，ありがたいと思いました。	がんサバイバーシップ支援は少し古い資料でしたが，「再発転移の無い患者が10年以上生存している人でも精神的不安絶望感が23倍もあり大幅に増加」勉強になった。	今日の話を聞いて、特に最先端治療について大阪の情報を確認（BNCT,重粒子線など）し、患者さんに提供できるようにしようと考えました。松浦先生の「10年以上でも再発転移の不安を感じている人が多い」という言葉が印象的で、患者家族と医療スタッフの思いの解離があることを認識しました。	今、AYA世代に興味を持って勉強していますが，その世代のがんサバイバーがどのようなニーズがあるか，何が問題なのかがまだまだ把握されていないと感じました。

第2講演（松浦）	第2講演は経過年別の資料が家族としては参考になった。	がん対策基本法の一部改正(福祉から)から患者家族だけでなく医療スタッフも当事者と学びました。	患者さんは治療終了後10年近く経過しても高い割合で不安を抱えておられるというお話が印象的でした。まだまだ就労と経済的面の負担は増加しており，支援体制を整えていく必要性を痛感しました	がん死亡率がん罹患率の減少という目標が達成されることによって，がんサバイバーが元通りの生活に戻るという支援をいかに行っていくか，今後非常に必要になってくると思いました。
	知らなかったことが多くあり詳しく教えていただきありがとうございました。特に緩和ケアについては末期の方だけかと思っていたので受講できてよかった。次回も受講したい。	がんサバイバーシップと支援について新たな情報を得たので，今後患者会活動に生かしたいと思います。	10年以上再発無くても再発への不安を感じている人が一定数存在し，精神的動揺，絶望の人も存在していることを紹介いただき，過去の診療も含め様々考えさせられた。	
	告知から治療開始までが一番不安なのだからその時点から患者をサロンや緩和ケアの説明や案内が重要という話が心に残った	長期生存者の調査から何年たってもがんでは不安になる、がんにつないでしまうこと皆同じと納得しました。	サバイバーシップ支援については，はじめてこの様な講演を聞いた。色々と参考になりよかった。	
	緩和ケアを受けていますが、受ける前と現在ではとても心が穏やかになり，全てのがん患者が緩和ケアを受けられることを願っています。	総長の松浦先生のお話は分かりやすかった。がんサバイバーについて。		
	とてもよかった。私は緩和ケアを受けてから日々の生活がとても楽になった。	大変勉強になりました。		
第3講演（松浦）	医療者側の努力がすごくわかってよかった。医療者の勉強会には医療者で患者でもあるという方の話をしてほしい。	がんプロの取組，がんプロフェッショナルの様々な分野の医療専門職がアメリカ等と比較して長所短所を解りやすく説明され，今後日本で必要な専門職についての開設は大変新鮮な情報でした。	がんプロの学生時代（院生）には松浦先生に大変お世話になりました。久しぶりに松浦先生の講演をお聞きして原点に戻るとともに，自分のモチベーションにつなげて，がん患者さんへの対応に力を入れていきたいと思いました。	
	医療者で患者という方の本音を交えた意見などお話が大切な気がする。	第1と第2講演は資料を読んでいるだけで役に立たなかった。がんプロは初めて知りました。大変勉強になりました。第4講演は大変役立ちます。	がんプロについて初めて知りました。とても勉強になりました。	
			がんプロというプロジェクトがあることを初めて知り，とても興味があります。	
	講義がわかりやすく、患者会の重要性がよくわかりました。ありがとうございました。	治療前に患者会サロンに参加できることを初めて知りました。広く周知させていただきたいと思います。手遅れですが私自身手術前に参加したかったと思います。	緩和ケア研究会の企画責任者をさせていただいているが，お話を聞いて「ピアサポーターの重要性」「早期介入の必要性」をセッション内容に含める必要性を感じた	患者会の方々の取組については，いつもどの患者会についても素晴らしく，頑張っていただきたいと思います。まだこれからの要望等をがん患者としての視点から伝えて頂き，とても参考になりました。

第4講演（三木）	演者の患者様のありのままのお話が強く心に残り，考えさせられる事がいっぱいあることに気が付きました。	がん患者会についての説明は非常にわかりやすかった。	とても身近で話をお聞き出来，良かった。貴重な時間でした。なかなかがん治療を行った方からお話を聞くことがなかったのでとても勉強になりました	がん患者団体の方のお話しお聴きできる機会をなかなか持てないので，お話をおうかがい出来て大変勉強になりました。（がん患者会やがんサロンの重要性，スピリチュアルな苦痛への支援の大切さなど）
	ご自身の体験をお話いただき，私は再発して不安を抱えた身ですが，そこまで辛い思いをしていませんが，涙が出ました。まtがん患者の立場でお話を。	本当に心に響く講演でよく理解出来ました。	がん患者さんへの心のケア，心理的支援が診断時から必要になること，現状でのケアがまだ不足していることを改めて感じました。	具体的なデーターの提示をして下さり理解が深まりました。ご提案の数々まさにその通りだと思いました。
	がん患者の立場でお話しいただけてありがとうございました。	演者の体験談は衝撃的で患者本来の生の声として聴きました。がんサバイバーシップにおける患者の声の重要性を発信されて大変良かった。	患者さんの生きる希望をどう支えるか，具体的な支援が求められることも痛感しました。演者の生の声は大変心にしみるものでした。ありがとうございました。	演者の手術当時の状況はとても勉強になりました。患者会についての思い込みが多いことは，臨床でも多いと感じていました。その啓発に医療者として課題だと思いました。
			がん患者団体からのお話ということで，すこぐわかりやすいことと、よりがんに対する対策を各個人でもという考えでいくのかということを感じさせられた気がします。色々なところでお話を頂ければと思います。	がんサバイバーの方の話が聞けてよかったです。
			貴重な体験お気持ち等、根拠をもとにお話しいただき医療者としても大変ためになりました。患者さんご家族の立場にたって慮ることができるよう努めていきたいです。	
			患者の方々に交流の場について知っていただくことが重要であると学ばせていただきました。	
シンポジウム	患者会の方のお話を聞けて貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございました。	このような講演が多くの患者に知られていない。おおいに参考になりました。ありがとうございました。	治療のプロセスでセカンドオピニオンの活用もしていきたいと思うことが多くあった。そちらの方面の具体的な情報を知りたいので今後の計画の中にあればと希望します。	私自身も余り患者会に参加したことが無いのですが，大変興味を持ちました。次回も参加したいと思います。
	次回もまた参加したいです	全体的にわかりやすかった	具体的な話が聞けて良かった	短い時間で多くの情報を知ることが出来ました。幅広い情報をありがとうございました。
	出席してよかった。とても勉強になった。	スライドは図も多く理解しやすかった	次回も参加したいと思うほど参加してよかったです。	がん体験からの様々な立場からのプレゼンがあり，よかったと思います。
	開催されることをもっと宣伝してほしい。	講演の内容を絞って話してほしかった	患者さんの思いは一般の人に届いたでしょうか・・・	今後もこのようなシンポジウム等で医療者や住民に現状を広めて頂けたらと思います。

ンワム に関する 所見	関連資料の配布があったほうが理解しやすい。2年かけて4回シリーズで開催されることに期待したい。	わかりにくかったことがよくわかり，これからの患者会の運営に心がけ活用してゆきたいと思いました。良い勉強をさせていただきました。ありがとうございました。	国・医療機関・患者それぞれの立場での今後のがん対策について考えることが出来良い機会となった、また参加したい。	大変勉強になったとともに先生の想いと政府の想いと患者の想いを熱く感じました。ありがとうございます。
	医療者で患者という方の本音を交えた意見などお話が大切な気もする。	一律30分の配分でなく講演内容に合わせて時間配分をする方が良いと思う。		このようなシンポジウムに参加させて頂きありがとうございました。今の問題を知る機会となり貴重な経験となりました。
	パネルを見ながら説明を聞けて解りやすかった（一般主婦にとって）。	どこにどんな情報があるのか理解できました		貴重なお話をありがとうございました。わかりやすいスライドで大変勉強になりました。
	がん患者（患者の家族）が増える中、関心の高い府民は大勢います。もっと広報がされていれば参加者も増えるのではないでしょうか、もったいない気がします	患者支援者・行政・医療が色々な立場ではないことを初めて知りました。継続で新しい力になっていくと思います。緩やかな繋がりをキーワードの一つに思いました		私自身も余り患者会に参加したことが無いのですが，大変興味を持ちました。次回も参加したいと思います。
資料配布の要望	講演のレジメなどの配布は無理でしょうか？	できればシラバスをいただければ職場で報告しやすいです。	発表スライドのコピーがほしかったです	講演のパワポ全部でなくても主要な者ものでも配布してほしい。
	資料を配布していただきたかったです。全部でなくても要旨、項目だけでも聴講メモに入れて頂きたい。		ハンドアウトがなかったため、メモを取るのが大変でした。後日でも良いのでHP等で資料を公開してほしいと思います。	講演内容の簡単な（出来るだけ詳しい方がいいのですが）レジメがあればもっと後々の勉強にもなったように思います。
			可能であればハンドアウトを頂ければ嬉しいです。ハンドアウトが難しいようであれば，HPへの掲載を後日公開していただくなど，対応をお願いしたいです。メモは取っているのですが詳細まで記録が	プロジェクターの内容文字が小さくて，説明が時間の関係で早口となり，わかりにくかった。出来たら資料をコピーをもらいたかった。
			プレゼンの内容が多くてついてゆけないので，もう少しまとめて頂くか別途に資料を頂きたいです。お話も速くてノートがとれませんでした。	各シンポのレジメ用紙があると他者への説明もしやすい。例えば患者会や患者サロンでの方法提供するのが正確となる。
			演者の演題の資料を紙媒体でいただけたらありがたい・・・	スライドの資料配布してほしい
表示	詳しい資料画面は文字が細かくて読みにくかった（第1講演）	スライドが込み入りすぎてわかりにくい感があります。（第1講演）		スライドの字が小さく見にくい（第1講演）